

弊社
プロジェクトマネジメント
研修の特長

2006年7月13日

株式会社 アイセス

(株)アイセスのプロジェクトマネジメント研修体系

新 人 S E	S E / P L	P M	営 業	M G R
---------	-----------	-----	-----	-------

1日
コース

プロジェクトマネジメント
入門

営業のための
プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント
実践での成否ポイント(1日)

マネジャーのための
プロジェクトマネジメント

2日
コース

プロジェクトマネジメント
実践での成否ポイント(2日)

PMP試験対策(2日)

3日
コース

プロジェクトマネジメント
実践での成否ポイント
+組込演習 (3日)

内容

- 弊社「プロジェクトマネジメント」研修の特長
- 当研修のゴール
- 当研修に頂いた主な評価コメント
- ご提案研修日程 について
- 研修カリキュラム
- 事前アンケート
- 研修内容の骨子
プロジェクトとマネジメント、プロジェクト全体像の捉え方、プロジェクト・マネジャーへの期待、発足から終了プロジェクトのまで、PMBOKの概念

弊社「プロジェクトマネジメント」研修の特長

コース名：プロジェクトマネジメント –実践での成否ポイント–

(内容の特長)

- プロジェクト成功への公式や王道はありません。しかしプロジェクト成否を分けるポイントは数々あります。これらの成否ポイントを実体験による事例紹介を交えて解説します。
- プロジェクトは全ての業界の多くの業務にあてはまります。IT業界でのプログラム開発を伴うものだけがプロジェクトではありません。プロジェクトの定義を、このような観点より、ご理解して頂きます。
- PMBOKの概念を解説し、プロジェクト技法を演習を通して取得して頂きます。更に、PMBOKの「知識エリア」と対応してプロジェクト成否のポイントを紹介していきます。
- 受講者の皆さんと出来る限り対話形式により進め、ご自身のプロジェクト及びプロジェクト・マネジャーの立場に照し合わせてご理解を深めて頂きます。

(運用の特長)

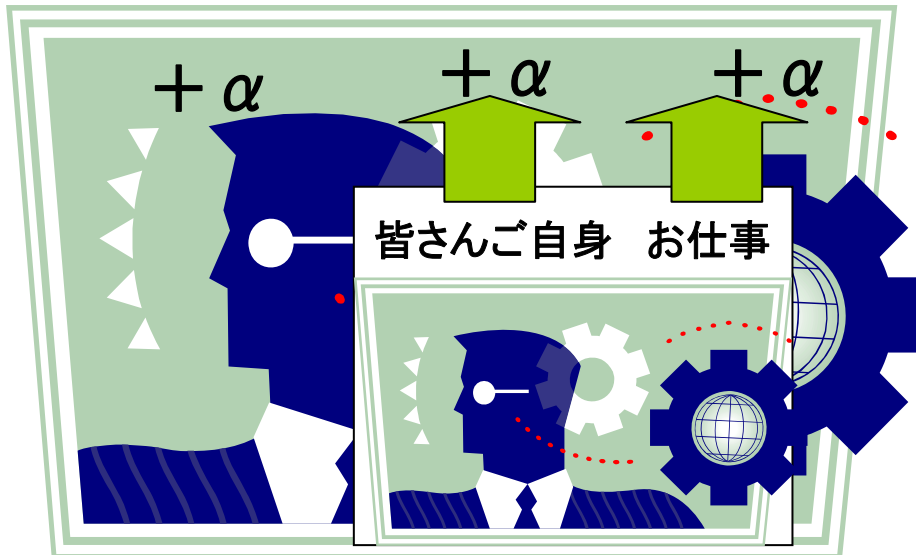
- 研修企画の目的, 受講者の経験度, 受講者の抱えている悩みや問題点と研修の期待を踏まえてカスタマイズ(コンテンツの内容とフォーカス・ポイント)致します。
- 研修期間についても、一日から三日までのコース対応をしております。お客様のご要望に合わせてコース期間と内容をカスタマイズ致します。
- 形式的な言葉, 難しい理屈の説明ではなく、実体験からのポイントを紹介し、問いかけをしながらプロジェクトマネジメントにおける実践でのポイントを身につけて頂きます。

当研修のゴール

- 「プロジェクト」、「マネジメント」、「プロジェクト・マネジメント」の考え方。
- プロジェクトの発足から完了までの各段階での成否のポイント。
- PMBOKの概念と技法の利用法。
- プロジェクト・マネジャーへの期待とスキル。

を理解し、実践して頂くことにより

- 皆さんご自身とプロジェクトの更なる成長・成功への一助となる。



当研修に頂いた主な評価コメント

- 実体験の事例が参考になる。
 - 判り易い体系と易しい話し方。
 - すぐに役立てられる点が多い。
 - PMBOKの捉え方がよく理解できた。
 - 演習を通して技法の考え方を修得できた。
 - 部下,他メンバーにも受講させたい。
- など。

ご提案研修日程について

- 1日コースから3日コースまでお客様のご要望、ニーズに合わせてカスタマイズしていきます。

- 1日コース、2日コースでのフォローアップ・コース
 - 研修の数ヶ月後に実施。
 - ご自分のプロジェクトに成否ポイントを当てはめて状況を発表し、全員で討議。
 - 改善点があれば、その後のご自分のプロジェクトに活かしていく。

プロジェクトマネジメント (2日間コース)

第一日	第二日
I. プロジェクトとマネジメント 1. プロジェクトの定義 2. プロジェクトのマネジメントとは 3. PMBOKについて II. プロジェクト全体像の捉え方 1. プロジェクトの範囲とステークホルダー 2. プロジェクトの難易度 3. 失敗ケースでよく聞く話	IV. プロジェクトの発足から完了まで 4. コスト管理と進捗状況の把握 (コスト・マネジメント) 5. 品質について (品質マネジメント) 6. チーム・メンバーと体制 (人的資源マネジメント)
演習	演習
III. プロジェクト・マネジャーへの期待 1. 期待と使命 2. スキル 3. チームワーク	7. コミュニケーションの心得 (コミュニケーション・マネジメント) 8. プロジェクトのリスク (リスク・マネジメント) 9. 外部調達 (調達マネジメント)
演習	演習
IV. プロジェクトの発足から完了まで 1. プロジェクトの発足 (統合マネジメント) 2. プロジェクト・スコープ (スコープ・マネジメント) 3. スケジュール策定 (タイム・マネジメント)	10. プロジェクトの完了 (統合マネジメント- 終結) まとめ
演習	演習

注) 演習の内容は受講者の経験度により調整しています。

プロジェクトマネジメント(3日間コース)

第一日		第二日		第三日	
午前 (9:00~ 12:00)	I. プロジェクトとマネジメント 1. プロジェクトの定義 2. プロジェクトのマネジメントとは 3. PMBOKについて ■演習 I (1):プロジェクトの3要素 II. プロジェクト全体像の捉え方 1. プロジェクトの範囲とステークホルダー 2. プロジェクトの難易度 3. 失敗ケースでよく聞く話 ■演習 II (1):ステークホルダーと難易度 ■演習 II (2):PMの懸念(お客様との契約) III. プロジェクト・マネジャーへの期待 1. 期待と使命 2. スキル 3. チームワーク ■演習 III (1):PMIに対する期待 ■演習 III (2):『できるPM』とは?	午前 (9:00~ 12:00)	V. プロジェクトの発足から完了まで V-1. プロジェクトの発足 (統合マネジメント) 演習スタディ 演習説明 ■演習 V-1(4):キックオフミーティング ■演習 V-1(5):スコープ記述書の作成 V-2. プロジェクト・スコープ (スコープ・マネジメント) ■演習 V-2(1):WBS作成 ■QUIZ-2	午前 (9:00~ 12:00)	V. プロジェクトの発足から完了まで V-5. 品質について (品質マネジメント) ■演習 V-5(1):品質管理 ■演習 V-5(2):変更管理 V-6. チーム・メンバーと体制 (人的資源マネジメント) ■演習 V-6(1):プロジェクト体制 V-7. コミュニケーションの心得 (コミュニケーション・マネジメント) ■演習 V-7(1):ステークホルダーとの コミュニケーション計画作成
昼休み(12:00~13:00)		昼休み(12:00~13:00)		昼休み(12:00~13:00)	
午後 (13:00~ 17:30)	IV. 組み込みシステムの特徴 1. 組み込みシステムとは 2. 組み込みシステムのソフト・ハード構造 3. 組み込みシステム動向 4. 組み込みシステムPM SKILL 5. 組み込みシステム開発のポイント ■QUIZ-1 V. プロジェクトの発足から完了まで 1. プロジェクトの発足 (統合マネジメント) ■演習 V-1(1):プロジェクト発足要因 ■演習 V-1(2):PM権限 ■演習 V-1(3):プロジェクト価値と優先順位	午後 (13:00~ 17:30)	V-3. スケジュール策定 (タイム・マネジメント) ■演習 V-3(1):パート図作成 とクリティカルパス ■演習 V-3(2):PDM作成 ■演習 V-3(3):マスタースケジュール作成 V-4. コスト管理と進捗状況の把握 (コスト・マネジメント) ■QUIZ-3:コンティンジェンシー ■演習 V-4(1):開発コスト見積もり ■演習 V-4(2):EVM ■演習 V-4(3):EVMによる進捗管理	午後 (13:00~ 17:30)	V-8. プロジェクトのリスク (リスク・マネジメント) ■演習 V-8(1):経験からのリスクマネジメント V-9. 外部調達 (調達マネジメント) ■演習 V-9(1):外部調達管理 V-10. プロジェクトの完了 (統合マネジメント-終結) ■演習 V-10(1):プロジェクト完了プロセス ■演習 V-10(2):まとめ closing アンケート

注)時間の都合により一部の演習を割愛する場合があります。g

事前のアンケート

事前アンケート（研修実施日 2006年）

お名前：

(1)プロジェクト経験暦：

（過去、いくつのプロジェクトをどの立場でご経験されたかを、期間も含めて記述して下さい。）

(2)現在ご担当のプロジェクトの概要：

（業種、内容、規模、期間、総予算など差し支えない範囲で記述して下さい。）

(3)過去から現在まで、プロジェクト・マネジャーとして最大の悩みや問題点を三点挙げて下さい。

（現在でも抱えている悩みや問題点があれば、それを優先して記述して下さい。）

・
・
・

(4)プロジェクト・マネジャーとして常に心がけている信条を三点挙げて下さい。

・
・
・

(5)今回の「プロジェクト・マネジメントー実践でのポイント」研修に期待している点を挙げて下さい。

* 当研修を効果的にする為にご協力をお願い申し上げます。

2006年 コース担当： 小松本 通夫

内容の骨子(1)

■ プロジェクトとマネジメント

- ・ 「プロジェクト」、「プロジェクトマネジメント」の定義や理解は各自様々ですが、基本的条件は共通理解が必要です。プロジェクトには目的があり、スケジュール／機能／コストの三条件を的確に理解することがプロジェクトに携わる人の必須要件であること。この要件の理解の徹底を図ります。
- ・ 現在のご自分のお仕事を「プロジェクト」として捉え、ご自身を「プロジェクト・マネジャー」と置き換えて頂いて話を進めます。
- ・ 「プロジェクト」は定常業務とは違い一過性のものであり開始と終了があり、その期間の「マネジメント」の全ての責任がプロジェクト・マネジャーにあることを認識して頂きます。「マネジメント」の意味も理解して頂きます。

内容の骨子(2)

■ プロジェクト全体像の捉え方

- ・ 「プロジェクト」には当然ですが、発足した要因があります。企業にとって市場面, 経営面, 技術面, 運用面などの側面より自らのプロジェクトの位置づけと価値を見直して頂きます。
- ・ この位置づけ, 価値をプロジェクト・メンバー全員で共通理解されていることがチームワークの大前提であることを再確認して頂きます。
- ・ プロジェクトの範囲, プロジェクトの難易度の要因を説明します。また当該プロジェクトの利害関係者の説明をし, プロジェクトを取り巻く環境を理解して対応していく必要性を理解して頂きます。
- ・ 調査データや実体験からプロジェクトの成否は先ず「人」にあることを強調していきます。そしてプロジェクトの成功にはプロジェクト・マネジャーのプロジェクト・メンバーへの「思いやり」とプロジェクトそのものへの強き情熱が根底に必要であることを強調していきます。

内容の骨子(3)

■ プロジェクト・マネジャーへの期待

- ・プロジェクト・マネジャーに求められるスキルは単にテクニカル・スキルとプロジェクト技法のスキルだけではない事を強調していきます。ヒューマン・スキルや行動特性をベースにして如何にメンバーに慕われ、お客様や自社のマネジメントから信頼を得ていくかを強調していきます。
- ・実例を挙げながら紹介していきます。受講者の方々にも問いかけをしていきます。
ex. 「あなたはプロジェクト・マネジャーとしてプロジェクト・メンバーのモチベーション向上のために心がけていることはどういうことですか？」
- ・プロジェクトを成功のゴールに導くことはもちろんですが、お客様の信頼を得ていくこと、人を育てていくことがプロジェクト・マネジャーに強く期待されていることを解説します。

内容の骨子(4)

■ プロジェクトの発足から完了まで

実践での成否ポイント

- ・プロジェクトの立ち上げから終結までのプロセス群をPMBOKの9つのマネジメント・エリアに対応しながら各プロセスでの成否のポイントを解説していきます。単に概念の話ではなく、実体験からの事例を極力紹介してそのポイントの重要性を解説していきます。
- ・9つのマネジメント・エリアの説明では本を読めばすむことですし、概念が判っても成否のポイントとその重要性は理解できません。しかし9つのマネジメント・エリアは経験の整理棚となりますし、実体験の事例を整理棚に合わせる形で解説していきます。

内容の骨子(5)

■ PMBOKの概念

- ・PMBOKの基本的な概念を紹介し, 計画と運営(進捗管理)での技法を演習を通して修得して頂きます。
 - ・「PMBOKに書いてあるとおりにやれ」という盲目的PMBOK信仰論。「PMBOKは所詮, 知識の寄せ集めであり, 現場のプロジェクトには通用しない」というPMBOK懐疑論。
- 両方とも極端な見方であると思います。PMBOKはあくまでガイドであり, プロジェクトの組織や性格に応じて効果的に応用できるところを活用していくことが重要であることを説明していきます。